

中国 5 県休眠預金等活用事業 2021

公 募 結 果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	NPO 法人三段峡-太田川流域研究会
代表者名	本宮 炎
申請事業名 主題	大人も子供も学んで楽しい！三段峡ビジターセンター設置事業
申請事業名 副題	～体験と学びによる中山間地域の新しい価値づくり～
エリア／テーマ	【広島県】 中山間地域を担う生業づくり
解決すべき社会課題	③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援 ⑥ 地域の働く場づくりの支援
申請事業の概要	<p>・中山間地域の課題と私たちの取り組みの目的</p> <p>「中山間地域の止まらない人口減少」を問題とすると、その原因は「中山間地域の価値の喪失」と私たちは考えています。中山間地域は都市部にエネルギーや食糧などを供給する必要な存在でした。1950年代から、石油輸入量の増加と安芸太田町の人口減少が始まります。石油の輸入により産業構造が変化し、中山間地域は生産の場としての価値を失っていったのです。この原因の解決には、中山間地域の新たな価値の創造が必要です。私たちは、豊かな自然や文化・歴史を有する中山間地域を「体験と学びの場」として位置付け、三段峡をモデルケースに「太田川流域の環境を担う人材を育てる場所になる」という新しい価値の付与を目指します。</p> <p>・なぜ私たちは人材育成に取り組むのか</p> <p>地球温暖化や生物多様性の危機、環境に対する取り組みの重要性はこれまでにない程に増えています。しかし、自然から学ぶ機会は減少傾向にあります。自然体験は教育面の重要性もさることながら、中山間地域への関心や理解の醸成としても効果的です。加えて、身近な地域での自然体験は、地球規模の環境問題を自分事として考える基盤にもなります。私たちは人材の育成により中山間地域価値の創出に関わるを増やします。将来的により多様な解決策と、多く人がかかわるアプローチにより、大きな力なると考えています。私たちは活動の実績として環境教育活動に強みがあり、SDGsの流行など人々の環境問題への関心の高まりも相まって確かな手ごたえを感じています。</p>

・目指す姿と中山間地域を担う生業とは

私たちは、(1)地域の価値を向上させる、(2)地域の魅力を伝える、(3)地域の関係人口やファンを増やす、以上の3つをコミットメントする活動を「中山間地域を担う」と定義しました。そこで、本事業により、太田川流域の環境を担う人材育成を目的に生業を確立させます。広島発展に大きく寄与してきた太田川上流にある三段峡に「自然の知識や技術を学ぶ場」、「自然を大切に想う人が集まり学び合う場」としての魅力を付加し、都市と中山間地域の持続可能かつ、新たな関係づくりを推進します。取り組みを続け仲間が増えるほど、地域の魅力を高める生業が確立し、さらに中山間地域の魅力が増していく姿を目指しています。

・実施する活動

目指す姿の実現のために、本事業で三段峡が自然を体験する場、自然とかかわる場、何度も来たくなる場にする拠点のビジターセンター設置・運営に取り組みます。三段峡正面口にある遊休施設をリノベーションし、三段峡の自然や文化・歴史の展示解説、ツアーや自然塾の実施、三段峡についての講座、ボランティア活動の充実、商品の販売、などの拠点としてビジターセンターを設置します。現在の活動のボトルネックである「持続的な活動のための拠点が無い」を解消するとともに、強みである寄付の獲得や環境教育事業を伸ばし、弱みである事業収入の少なさを解決します。そして広島大学中坪研究室を中心とした「廣大さんけん部」と協働でビジターセンターの博物館展示を充実させ(図1)、無印良品広島事業部などの多様なパートナーと共に中山間地域の価値の創出に取り組みます。令和元年ひろしま里山グッドアワード(広島県)や RCC ラブ・グリーン賞(中国放送)の受賞など成果が認められてきた私たちの取り組みを、本事業によって「拠点」を作ることで更に発展させていきます。

・持続性について

私たちの強みは、寄付(今年度 424 万円)が県内の環境団体で最も多い点です。そして環境教育事業の収入が 6 倍と大きく伸びる点です。本事業によりこの 2 点がさらに増強されると予想でき、団体の特性を活かした方法で持続性を担保したいと考えています。また、ビジターセンター設置によりツアー販売や物産の売上げが加わります。事業最終年には、三段峡名物のトチモチの継承の取り組みとカフェ機能増設に向けた市場のニーズ調査に着手します。トチモチは年商 500 万円程ありますが、事業者の高齢化により継承が難しくなっています。県内でもトチモチを販売するところは他になく、県の食文化継承としても重要と考えています。ランニ

	<p>ングコストに関しては、家賃は5年間無償提供され、その後は売り上げに応じた家賃を話し合い設定します。水道は井戸水のため無料、トイレは併設する三段峡ホテルの施設を利用するため追加経費がかかりません。残るランニングコストとしては照明の電気代が主になりますが、改装でLEDライトへ変更しコストを削減します。また平日は事務職員がワークスペースと兼ねて在中するため、繁忙期や土日はアルバイト職員を配置するとしても組織運営上大きな負担は生じません。</p> <p>・最後に 本事業のテーマである「中山間地域を担う生業づくり」を通じて、「中山間地域の価値の喪失」に正面から向き合い、三段峡が太田川流域の環境を担う人材を育てる場所になるべく取り組みます。また本事業により自団体の事業収入を増加させ、組織基盤を強くして、課題達成のために持続的に取り組みます。</p>
事業実施地域	安芸太田町
申請事業期間	(開始月)2022年4月～(完了月)2025年2月
申請助成額	10,500,000円 【内訳】直接事業費 9,618,560円、管理的経費 381,440円、評価関連経費 500,000円

■ 審査コメント

- ✓ 活動実績をしっかりと積み上げ、地域等との連携・関係作りもしっかりしている
- ✓ 収入源含めてスキームがしっかりしており実現可能性が高いと考える
- ✓ 自主事業物販、カフェの実証のところが位置づけとして前に出しているが弱いと感じる。具体的な提示があればもっと良いと思う
- ✓ 資料もよく作成している
- ✓ 成果・評価も含め、活動を振り返ることができる点が良い
- ✓ 成功に向けたロードマップが描けているという印象を受けた
- ✓ 体験と学びが良いところだと思う
- ✓ すぐに生業づくりに結びつかないかもしれないが、こういった体験をした子どもたちがいろいろ感じて戻ってくる。教育的側面に期待
- ✓ とち餅事業のように、地域から無くなりそうなものを継承し、次の人につないでいく点も評価できる
- ✓ 着実な実績を積み上げていることが資料等からもうかがえ、良い活動をされていると感じる
- ✓ 三段峡はいいところだが、残念ながら観光協会が解散せざるを得なかったなどの経緯もある。本事業を機会に再出発と言える動きができればよいと思う
- ✓ 丁寧に実績を積み上げている上に、今後の事業展開についても収入面、支出面含めしっかり整理されており、実現可能性も高いと考えられる。

- ✓ ただ、自主事業収入部分が弱く、それ強化したいということも今回の申請の背景であると考えられるが、その部分の強化については、物販やカフェの実証といった弱い位置づけであり、より具体的な計画の提示がほしい。
- ✓ これまでの調査や研修の実績が、組織の存在感を思わせる。観光協会解散など三段峡にとっては不幸な時期もあったが、『野外博物館』などと言った新たな視点での取組が展開されることで、物見遊山の観光地から、「知」を得ることも出来る着地体験型の観光地に変わることにより大きな期待を寄せる。
- ✓ 団体として、解決を目指す地域課題を定義を含めて明確化しており、諸課題の解決に向けて具現化が期待できる。
- ✓ NPO 法人として、この間の事業実績もあり、事業の実効性や継続性は申し分ないと感じる。
- ✓ 成果・効果を測る指標の定義並びに定量的指標のリンクも整理されている。
- ✓ 資金計画における施設利用も当面無償提供がされ、休眠預金活用による不動産扱いの担保 10 年ルールに対しても、将来展望も描けており、実現性に向けては専門家を介して賃貸契約を予定するなど、この点を取り上げてもリスク管理がなされているとの印象を受けた。